

# 国土技術政策総合研究所資料

TECHNICAL NOTE of  
National Institute for Land and Infrastructure Management  
No.623 January 2011

国土交通省国土技術政策総合研究所

緑化生態研究室報告書 第25集

緑化生態研究室

Landscape and Ecology Division, Annual Research Report (25th)

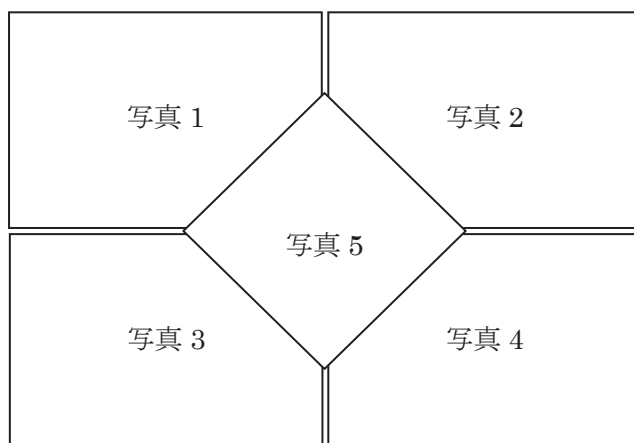
Landscape and Ecology Division



国土交通省 国土技術政策総合研究所

National Institute for Land and Infrastructure Management  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Japan

### 表紙の写真：道路横断施設を利用する野生動物たち



**写真1：ボックスカルバート（犬走り）内を移動するキタキツネ**

**写真2：橋梁下を移動するエゾシカ（オス）**

**写真3：ボックスカルバート内を移動するニホンイノシシの家族**

**写真4：ボックスカルバート（犬走り）内を移動するホンドテン（冬毛）**

**写真5：ボックスカルバートから顔を出したホンドタヌキ**

道路横断施設とは、野生動物が安全に道路横断できる施設で、動物専用の物の他、人、車の横断や排水用の施設と兼用される物もあります。施設は大きく分けて、オーバースペースとアンダーパスに分類されます。オーバースペースは橋梁やトンネルの上部を動物の移動経路とするものであり、アンダーパスは、ボックスカルバートやパイプカルバートなどのコンクリートや鉄製のトンネル、橋梁下など施設の下部を動物の移動経路とするものです。橋梁下は、大型哺乳類から小型哺乳類まで多様な動物によって利用されますが、ボックスカルバートはボックスのサイズによって利用する種が制限され、中型哺乳類による利用が多いです。さらに、パイプカルバートは利用種が制限され、テンによる利用が多く確認されています。